



2026年1月27日

株式会社 Y4.com

町の人気キャラクターが“話せるAI”になって住民の健康を伴走

三朝町×GENKIMIRU、地域キャラクター「ミササラドン」を3D化した

「ミササラドン 3D Genki AI」で健康支援を開始

鳥取県三朝町（町長：松浦弘幸）と株式会社 Y4.com（本社：東京都千代田区、代表取締役：安嶋幸直）、以下「Y4.com」）は、自治体向け PHR プラットフォーム「GENKIMIRU（ゲンキミル）」のヘルスケア AI エージェント「Genki AI」を活用し、三朝町の地域キャラクター「湯けむり怪獣 ミササラドン」を3D キャラクター化した対話型 AI として実装する取り組みを、本日より開始します。（三朝町のプロジェクトのみ）

本取り組みは、データに基づく継続支援に「地域への愛着」を掛け合わせることで、全世代のエンゲージメント（参加意欲・継続率）向上を狙うモデルケースです。



<https://youtube.com/shorts/379N-z2PlKw?feature=share>

1.背景－健康施策の課題は「わかる」より「続く」

健康アプリは、開始直後は利用されても、数週間～数カ月で離脱するケースが多く、自治体の健康施策では「継続率」が成果を左右します。

GENKIMIRU の「Genki AI」は、PHR データを活用し、住民の状態に合わせた声かけ・自己認知の支援・アプリ操作支援などを通じて、“続けられる健康行動”を支えることを目指しています。

一方で、三朝町には、温泉や自然など地域資源と結びついた暮らしがあり、住民に親しまれてきたミササラドンが存在します。今回の取組では、無機質になりがちなデジタル健康支援を、「町の伴走者」と変えることで、より自然な参加・継続を生み出します。

2. 実証の特長：ミササラドン 3D Genki AI の 3 つのポイント

(1) 「話したくなる」 3D 対話体験で、利用開始と継続の心理ハードルを下げる

スマートフォン上で表情豊かに動く 3D ミササラドンが、住民に寄り添うトーンで声をかけます。

日々の一言が「通知」だけではなく「対話」になることで、特にデジタルに不慣れな層でも使い始めやすく、続けやすい体験を提供します。

(2) PHR 連動の“パーソナル健康コンシェルジュ”として、日々の小さな行動を後押し

歩数・睡眠・心拍等（連携範囲は実証設計に準拠）の PHR データ傾向をもとに、

「今日は少し休息を増やしましょう」「まずは 5 分だけ歩いてみませんか」など、行動変容につながる小さな提案を行います。

※本サービスは診断・治療を目的とするものではなく、必要に応じて専門職・既存の相談窓口等への接続を設計しています。

(3) 地域資源・地域経済と連動したインセンティブ設計（健康→地域が潤う）

健康行動（例：記録継続、一定歩数達成、睡眠改善チャレンジ等）を達成した住民に対して、

三朝温泉・地域施設等と連動した特典（ポイント／特典画像等）を付与する仕組みを提供します。

健康増進を「医療費抑制」だけで終わらせず、観光・商業・コミュニティ活性化にもつなげる“循環型モデル”を目指します。

3. 三朝町温泉活用健康プロジェクト

名称：三朝町「ミササラドン 3D Genki AI」健康支援

期間：2026 年 12 月 6 日～2027 年 3 月 31 日

対象：三朝町住民 5,600 名

内容：3D 対話／PHR 連動の声かけ／アプリ操作支援／健康チャレンジ／（必要時）専門職・相談導線への接続

評価指標：継続率（DAU/MAU 等）、記録継続率、行動指標（歩数・睡眠等）、満足度、参加者の自己効力感 等

4. 他自治体への展開：“ご当地キャラクター×Genki AI”を短期間で導入できるパッケージへ

本プロジェクトの最大の特長は、AI の中身（安全設計・対話ロジック・データ連携）を共通基盤として維持しつつ、「キャラクター」「口調（方言）」「地域情報」「健康チャレンジ」「特典設計」を自治体ごとに差し替え可能な“地域カスタマイズ・テンプレート”として提供できる点です。

- ・既存のゆるキャラ・名産品・観光資源をそのまま“健康支援の顔”として活用
- ・課題別（フレイル予防／健診受診率向上／孤立予防／重症化予防 等）にシナリオを切替
- ・行政施策の効果検証（EBPM）に向け、健康行動の変化をデータで把握し施策改善に反映

【モデル自治体募集】

Y4.com では、2026 年度に「ご当地キャラクター×Genki AI」モデル導入自治体（先着 10 団体）を募集します。

自治体や地域が保有するキャラクター素材（2D 画像等）を起点に、3D 化・対話トーン設計・健康チャレンジ設計までをパッケージで提供します。

【株式会社 Y4.com 会社概要】

[所在地] 東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエアイーストタワー 4F

[設立] 2012 年 4 月

[代表者] 安嶋 幸直

[事業内容]

- ・自治体向け ICT・PHR プラットフォーム「GENKIMIRU」の開発・提供
- ・ヘルスケア関連システムの企画・開発・運営
- ・自治体向け健康増進プログラム、特定保健指導、重症化予防・介護予防、妊産婦支援事業等を展開。

[URL] <https://y-4.jp/ja/>



株式会社Y4.comは、スマート・ライフ・プロジェクトと、
みなさまの健康・体力づくりを応援します。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社 Y4.com 管理部

E-mail : info@y-4.jp